

## 2 復旧・復興の進捗状況調査分析結果

宮城県の復旧・復興の進捗状況について調査したところ、次のような結果となりました。

### (1) 全般的な復旧・復興の実感について

#### <概要>

##### ■県全体

「進んでいると感じる」「やや進んでいると感じる」を合わせた『高実感群』は47.9%、「やや遅れていると感じる」「遅れていると感じる」を合わせた『低実感群』は40.4%である。

##### ■性別

男性の『高実感群』は48.9%で、県全体より1.0ポイント高い。

女性の『高実感群』は47.2%で、県全体より0.7ポイント低い。

##### ■年代別

65歳未満の『高実感群』は47.6%で、県全体より0.3ポイント低い。

65歳以上の『高実感群』は48.7%で、県全体より0.8ポイント高い。

##### ■地域別

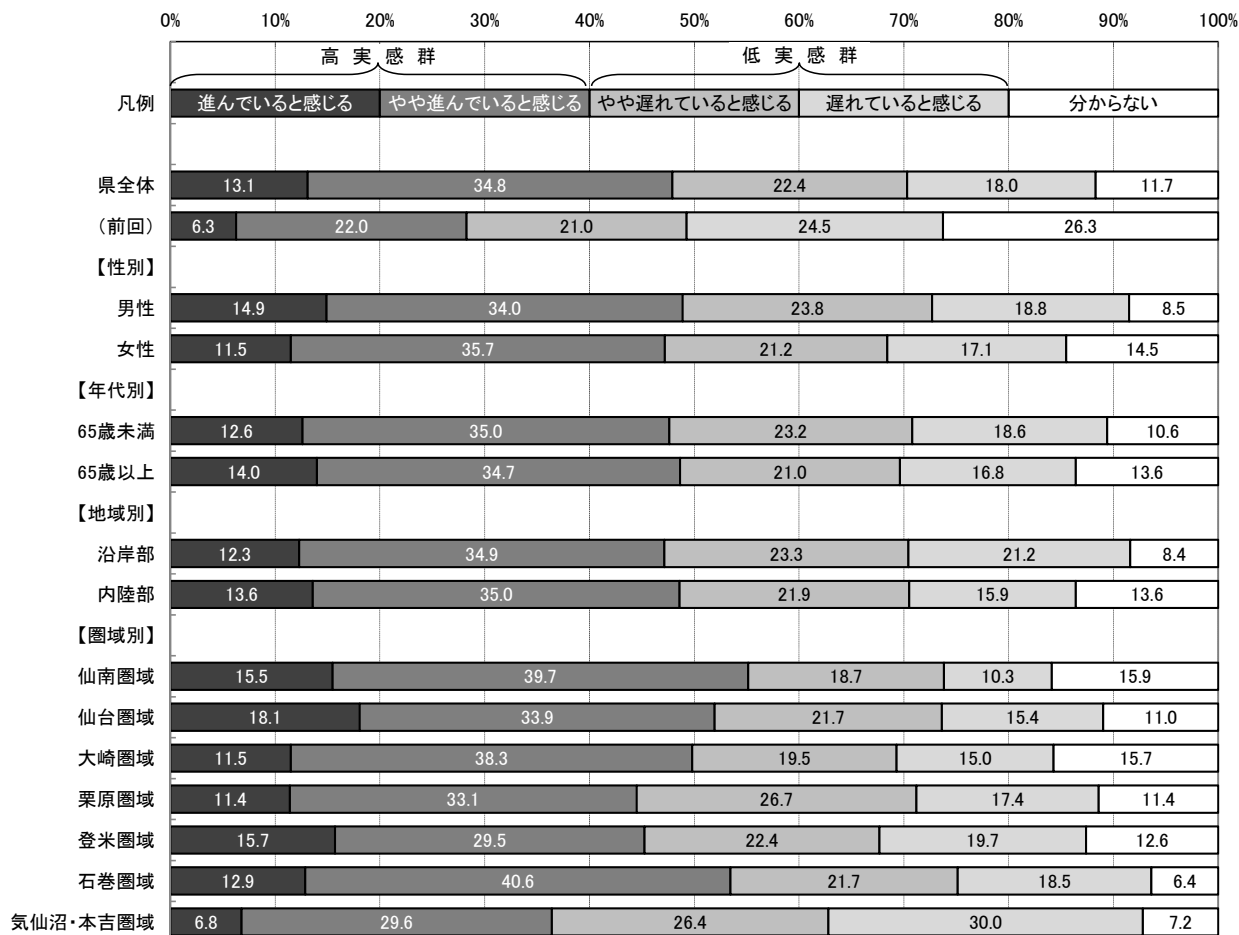
沿岸部の『高実感群』は47.2%で、県全体より0.7ポイント低い。

内陸部の『高実感群』は48.6%で、県全体より0.7ポイント高い。

##### ■圏域別

各圏域の『高実感群』は、気仙沼・本吉圏域が36.4%で県全体より11.5ポイント低く、仙南圏域が55.2%で県全体より7.3ポイント高く、石巻圏域が53.5%で県全体より5.6ポイント高い  
その他の圏域の『高実感群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

全般的な復旧・復興の実感に関する割合 (回答者属性別)



全般的な復旧・復興の実感について (回答者属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		進んでいる と感じる	やや 進んでいる と感じる	やや 遅れている と感じる	遅れている と感じる	分からない			
県全体	度数	242	646	416	333	217	1,854	117	1,971
	パーセント 「分からない」を 除くパーセント	12.3/13.1 14.8	32.8/34.8 39.5	21.1/22.4 25.4	16.9/18.0 20.3	11.0/11.7	94.1/100.0 100.0	5.9/	100.0/
(前回)	度数	117	409	391	456	489	1,862	49	1,911
	パーセント 「分からない」を 除くパーセント	6.1/6.3 8.5	21.4/22.0 29.8	20.5/21.0 28.5	23.9/24.5 33.2	25.6/26.3	97.4/100.0 100.0	2.6/	100.0/
<b>【性別】</b>									
男性	度数	127	289	202	160	72	850	53	903
	パーセント	14.1/14.9	32.0/34.0	22.4/23.8	17.7/18.8	8.0/8.5	94.1/100.0	5.9/	100.0/
女性	度数	114	353	210	169	144	990	61	1,051
	パーセント	10.8/11.5	33.6/35.7	20.0/21.2	16.1/17.1	13.7/14.5	94.2/100.0	5.8/	100.0/
<b>【年代別】</b>									
65歳未満	度数	143	398	264	212	121	1,138	37	1,175
	パーセント	12.2/12.6	33.9/35.0	22.5/23.2	18.0/18.6	10.3/10.6	96.9/100.0	3.1/	100.0/
65歳以上	度数	98	243	147	118	95	701	77	778
	パーセント	12.6/14.0	31.2/34.7	18.9/21.0	15.2/16.8	12.2/13.6	90.1/100.0	9.9/	100.0/
<b>【地域別】</b>									
沿岸部	度数	88	250	167	152	60	717	45	762
	パーセント	11.5/12.3	32.8/34.9	21.9/23.3	19.9/21.2	7.9/8.4	94.1/100.0	5.9/	100.0/
内陸部	度数	151	389	243	176	151	1,110	68	1,178
	パーセント	12.8/13.6	33.0/35.0	20.6/21.9	14.9/15.9	12.8/13.6	94.2/100.0	5.8/	100.0/
<b>【圏域別】</b>									
仙南圏域	度数	39	100	47	26	40	252	18	270
	パーセント	14.4/15.5	37.0/39.7	17.4/18.7	9.6/10.3	14.8/15.9	93.3/100.0	6.7/	100.0/
仙台圏域	度数	46	86	55	39	28	254	14	268
	パーセント	17.2/18.1	32.1/33.9	20.5/21.7	14.6/15.4	10.4/11.0	94.8/100.0	5.2/	100.0/
大崎圏域	度数	33	110	56	43	45	287	11	298
	パーセント	11.1/11.5	36.9/38.3	18.8/19.5	14.4/15.0	15.1/15.7	96.3/100.0	3.7/	100.0/
栗原圏域	度数	32	93	75	49	32	281	20	301
	パーセント	10.6/11.4	30.9/33.1	24.9/26.7	16.3/17.4	10.6/11.4	93.4/100.0	6.6/	100.0/
登米圏域	度数	40	75	57	50	32	254	18	272
	パーセント	14.7/15.7	27.6/29.5	21.0/22.4	18.4/19.7	11.8/12.6	93.4/100.0	6.6/	100.0/
石巻圏域	度数	32	101	54	46	16	249	13	262
	パーセント	12.2/12.9	38.5/40.6	20.6/21.7	17.6/18.5	6.1/6.4	95.0/100.0	5.0/	100.0/
気仙沼・本吉 圏域	度数	17	74	66	75	18	250	19	269
	パーセント	6.3/6.8	27.5/29.6	24.5/26.4	27.9/30.0	6.7/7.2	92.9/100.0	7.1/	100.0/

上段：度数

下段：欠損値を含む合計からの割合/有効回答からの割合

(2) 全般的な復旧・復興の進捗状況を実感した取組

①回答者数

回答者数 1,604 名

②主な理由を分野別に類型

分類項目	進んでいると感じる	やや進んでいると感じる	やや遅れていると感じる	遅れていると感じる
分野1 環境・生活・衛生・廃棄物	263件	662件	412件	376件
取組1 被災者の生活環境の確保	150件	361件	194件	176件
取組2 廃棄物の適正処理	76件	189件	145件	121件
取組3 持続可能な社会と環境保全の実現	37件	112件	73件	79件
分野2 保健・医療・福祉	199件	582件	448件	398件
取組1 安心できる地域医療の確保	75件	245件	161件	128件
取組2 未来を担う子どもたちへの支援	63件	160件	112件	119件
取組3 だれもが住みよい地域社会の構築	61件	177件	175件	151件
分野3 経済・商工・観光・雇用	211件	545件	391件	346件
取組1 ものづくり産業の復興	56件	147件	69件	69件
取組2 商業・観光の再生	85件	206件	106件	102件
取組3 雇用の維持・確保	70件	192件	216件	175件
分野4 農業・林業・水産業	203件	504件	403件	329件
取組1 魅力ある農業・農村の再興	85件	202件	178件	117件
取組2 活力ある林業の再生	29件	48件	55件	56件
取組3 新たな水産業の創造	51件	142件	75件	75件
取組4 一次産業を牽引する食産業の振興	38件	112件	95件	81件
分野5 公共土木施設	349件	841件	534件	500件
取組1 道路、港湾、空港などの交通基盤の確保・整備促進	138件	324件	159件	148件
取組2 海岸、河川などの県土保全	85件	175件	128件	130件
取組3 上下水道などのライフラインの整備	62件	177件	101件	102件
取組4 沿岸市町をはじめとするまちの再構築	64件	165件	146件	120件
分野6 教育	182件	481件	334件	294件
取組1 安全・安心な学校教育の確保	83件	261件	172件	137件
取組2 家庭・地域の教育力の再構築	42件	97件	97件	90件
取組3 生涯学習・文化・スポーツ活動の充実	57件	123件	65件	67件
分野7 防災・安全・安心	291件	773件	519件	473件
取組1 防災機能の再構築	85件	202件	135件	113件
取組2 大津波等への備え	84件	243件	131件	131件
取組3 自助・共助による市民レベルの防災体制の強化	64件	157件	111件	97件
取組4 安全・安心な地域社会の構築	58件	171件	142件	132件
その他 その他	4件	5件	8件	12件
総数	1702件	4393件	3049件	2728件
回答者数	228名	635名	413名	328名

※件数は複数回答扱い

■全般的な復旧・復興の進捗状況の実感について、「やや遅れている」又は「遅れている」と回答している低実感群が最も多かったのは、「雇用の維持・確保」で、次いで「被災者の生活環境の確保」、「だれもが住みよい地域社会の構築」の順であった。

